

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



No.22-16
2022年4月6日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

海自・新型護衛艦「くまの」横須賀配備(3月28日)

軍事優先 国民生活犠牲の大軍拡

三浦半島連絡会阻止連ニュー ス NO.3550号より

海自の新型護衛艦「くまの」



3月28日、海上自衛隊の新型護衛艦 FFM「くまの」が海自・横須賀基地に配備されました。防衛省は、従来は掃海艦艇が担っていた機雷除去能力も備え、対空戦や対水上戦など多様な任務への対応能力を向上させた新型護衛艦 (FFM) の建造と整備を進めています。

FFMの1番艦が「もがみ」、横須賀に配備された「くまの」はFFMの2番艦です。

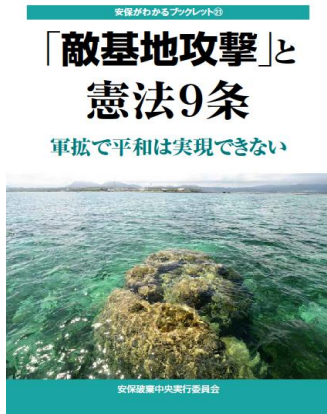
「くまの」は、レーダーにとらえにくくするために突起物を極力減らした「ステルス形状」の船体の特徴で、船体のコンパクト化によって乗組員は従来型より少ない90人です。建造費は約506億円、全長133mとやや小型の船体

で、基準排水量3,900トン、満載排水量5,500トンといわれています。22日に岡山県玉野市の「三菱重工マリタイムシステムズ玉野本社工場」で海自への引き渡し式と自衛艦旗授与式が行われました。

新型護衛艦 (FFM) は、中国の海洋進出やロシアの覇権拡大に「軍事的圧力」をかけることを目的に建造され、南西諸島を中心に日本の海上防衛の一翼を担う次世代の「多目的フリゲート」となり、将来的には22隻を建造する計画となっています。海自にフリゲートに分類される艦が正式に配備されるのは、半世紀ぶりといわれています。

軍事評論家は、「もがみ」や「くまの」のような次世代型の「ステルス護衛艦」は、いずれ海自の主力艦になると述べています。

「もがみ」と「くまの」2隻で建造費は1055億円、宇宙軍拡関連経費790億円、F35A戦闘機の新規調達768億円、F15戦闘機の改修520億円……軍事費は別格に拡大されコロナ禍で苦しんでいる中小企業、国民の暮らし関連予算は相次いで削減されています。



注文書は8日以降に安保中央のホームページに掲載します。

安保がわかるブックレット⑳「敵基地攻撃」と憲法9条 軍拡で平和は実現できない」が4月13日から発売されます。ブックレットでは、「敵基地攻撃能力とはどのような軍事能力なのか」、「なぜいま敵基地攻撃能力保有なのか」、「なぜいま敵基地攻撃能力保有なのか」について米中緊迫の情勢を背景

安保がわかるブックレット⑳ 新発売

「敵基地攻撃」と憲法9条 軍拡で平和は実現できない

に米国の日本への軍事分担要求問題として解明しています。「敵基地攻撃能力保有」の先にあるのは9条改憲による「戦争する国」への跳躍と、大軍拡による国民生活破壊であることを明らかにしています。また、「憲法守れ」の大運動によって9条にもとづく平和外交を推進しアジアの平和を構築することを訴えています。ロシアのウクライナ侵略や米中緊迫など激動する世界に立ち向かうための学習に活用を呼びかけます。

ブックレット⑳ 目次

- (1) 「敵基地攻撃能力」とはどのような軍事能力なのか
- (2) なぜいま「敵基地攻撃能力」の保有なのか
- (3) 「敵基地攻撃能力」保有は、日本に何をもたらすのか
- (4) 憲法9条にもとづく平和外交と「憲法守れ」の世論と運動

お知らせ

- ◆ 『ロシアは侵略をやめろ、ウクライナから撤退を！ #0408 日比谷集会』
日時：4月8日(金) 会場：日比谷野外音楽堂 集会開始：18時(開場17時30分)
デモ出発：19時 呼びかけ：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- ◆ 4月の安保常任幹事会(オンライン含む) 4月13日(水) 15時～
平和と労働センター 8階「民医連会議室」
オンライン参加のURLは、4月11日に送ります。参加をお願いします。